

何を使う

機器 タブレット

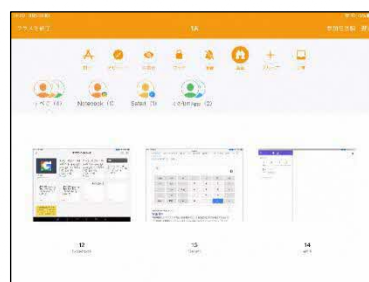
ソフトウェア（アプリ）

クラスルーム（Apple）



それをどう使う（それで何ができる）

- ・児童生徒が使用するタブレットを管理するアプリである。
- ・児童生徒用タブレットの使用状況を教員用タブレットで確認するとともに、使用している画面や作成したデータ等を共有することができる。
- ・互いの考えを共有することで思考を深めたり、自分の考えを他者に伝わるように表現したりすることができる。



ここが変わる、活用メリット【ICT 活用 Before-After】

中学校 数学科「1次式の計算」

【 Before 】

- 文字式の計算方法について考察した結果をノートに書き、実物投影機で大型提示装置に映しながら発表する。



【 After 】 メリット

- 他者の計算方法の考察している過程をタブレットで直接見ながら、自己の考察と比較することで、多様な考えに気付くことができる。
- 教員用タブレットから生徒用タブレットの操作を制御することで、説明を聞く場面と生徒が考える場面との区別が明確になり、授業を効率的に進めることができる。

機器 (台数)	スマホ	タブレット	PC	その他		学習 場面	一 斉	個 別	協 働
		○		提示なら大型提示装置			○	○	○
	教師用1台、生徒用は1人1台やグループに1台								
授業実施時に必要な環境→				インターネット接続		○	1人1台端末		○
活用が想定 される校種	小	中	高	特	活用が想定される教科・科目等		算数（数学）等		
	○	○	○	○	活用が想定される場面		個人学習、協働学習		